

泰日協会学校（バンコク日本人学校）学校だより
Thai Japanese Association School



令和7年度
第1号

<https://www.tjas.ac.th>

小学部職員室

02-319-5457

中学部職員室

02-314-7335

校長 藤原 鎌次

令和7年度がスタートしました

バンコク日本人学校は、4月18日（金）に着任式並びに1学期始業式、4月19日（土）に小中学部それぞれの入学式を実施し、全校児童生徒2038名で令和7年度のスタートを切りました。

今年度の教育目標は昨年度に引き続き「夢や希望をもって 前進する子供の育成」です。

4月18日、久しぶりに会った子供たちの挨拶は、昨年度末よりも明るく元気でした。そうなった理由は、久しぶりに仲間や先生に会えたことが大きいのかもかもしれませんが、やはり新年度を迎えたやる気の表れだと感じました。

その子供たちのやる気を大切にし、さらに高めるために、全教職員一丸となって、「夢や希望をもって前進する子供の育成」の実現に努めてまいります。

しかし、子供たちの健やかな成長は、学校の力だけで達成できるものではありません。泰日協会をはじめ、子供たちの教育に関わっていただけるすべての皆様のご指導ご支援をいただきながら、家庭と学校が強い連携を図って取り組んでこそ、達成できるものと信じています。まさに社会総ぐるみで「日本の宝」である子供たちを守り、育てていきたいと思っています。

今年度も様々な面でご理解ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

令和7年度 バンコク日本人学校の教育活動の特色と変更点など

○小中一貫校として、「つながり」を大切にした教育活動

- ・昨年度に引き続き、学習面、生活面、特別活動面などにおいて、小中学部の連携を大切にします。
- ・TJAS スポーツフェスティバル、ゆめ集会、合唱の相互鑑賞、ふれあい弁当、相互授業参観などの活動を通して、「つながり」を深めます。

○中学部の授業時間の変更及び生み出された時間の有効活用

- ・中学校の1時間の授業時間は、これまで50分間でした。それを45分間として、生み出された30分間（5分×6コマ）を活用して、個に応じた学習の時間、委員会活

動の充実など、本校独自の工夫を凝らし、生徒の学力向上を実現します。

○イマージョン教育の推進

- ・1年生から6年生の図工科においてイマージョン教育を推進します。ここ2年間で図工科、体育科、音楽科、理科において、試行的に実施しました。その成果と課題を検証した結果、図工科において今年度は取り組むこととしました。子供たちが英語に触れる機会をさらに増やし、英語力の向上を目指します。

○特別支援教育の視点をもった、個に応じた指導の充実

- ・通常学級においても、子供たちの困り感に寄り添った指導を実施します。

○小学校中学年・高学年における、教科担任制の実施

- ・学力の向上を図るとともに、多くの教員が子供たちに関わるために、小学校における教科担任制を実施します。今年度は昨年度から実施している高学年に加え、中学年においても教科担任制を実施します。

○外国語教育（英語、タイ語）のさらなる充実

- ・学年の発達段階に応じた指導内容・形態で外国語能力を伸ばします。

○IB（国際バカロレア）教育の充実

- ・グローバル人材の育成を目指して推進します。昨年度は「生活科」「総合的な学習の時間」において、IBの概念を取り入れた学習を行いました。今年度は昨年度の成果と課題を検証し、各教科において、IB教育に取り組みます。

○各学年の子供の成長を見ていただく機会の推進

- ・今年度もTJASスポーツフェスティバルをナショナルスタジアムにおいて実施します。ただし、TJASスポーツフェスティバルには、9学年が同一日に活動するため、1学年当たりの活動時間が短くなるという課題がありました。そこで、小学部では、2・3学期に各学年が、子供たちの成長を確かめられる機会（合唱発表など）を実施します。中学部は1学期に学校において、子供の成長を見ていただく機会を実施します。